

7.3 ウェブページ

① HP の目的

HP の目的は、本プログラムの活動内容や成果報告を随時公開することである。

HP コンテンツを円滑に運営するために、システム管理面や、HP 機能が充実した汎用 CMS(Content Management System)、Geeklog の導入をすすめた。

※Geeklog について

汎用 CMS。多言語対応 (UTF-8)、デザインのテンプレート化、データベースを使用したシステムの一元管理が可能。また、プラグイン機能を使用することで、WEB サイト内にブログ機能、掲示板、ファイル管理など、通常 WEB サイト管理者でないと行うのが難しかった作業が、ユーザーレベルで追加修正が可能。さらに、本体そのものの拡張も容易に可能な仕組みを採用しているため、ユーザーレベルでの細かなプログラム修正を行うことも可能。

② HP の公開と変化について

公開の流れ

- 6月 Provisional Website (日・英)公開
- 8月 CMS 導入のため仮サーバにて、試験運用開始、コンテンツ作成
- 9月 本サーバ設置、CMS 導入・運用試験、HP コンテンツ作成
- 11月 日本語ページ公開
- 1月 英語ページ公開



図 1 : Provisional Website (日本語)



図 2 : Provisional Website (英語)



図 3：日本語ページトップ

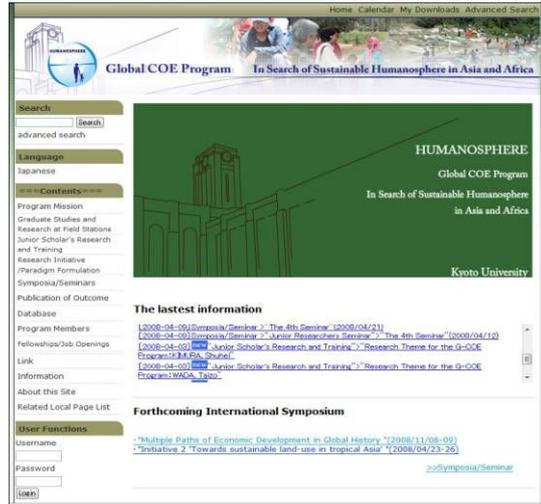


図 4：英語ページトップ

③ 主な HP 機能とその活用

- ・ カレンダー、メディアギャラリー、掲示板、ファイル管理(ダウンロード)、フォーラム(フォームによる登録)など

➤ 図 5：カレンダー

カレンダー機能は、研究会情報を中心にこまめに掲載をすすめており、毎月の情報が充実。各研究活動が一目でわかるようにすすめている。

➤ 図 6：メディアギャラリー

メディアギャラリーでは、画像掲載のみでなく、デジタルコンテンツ情報を整理・アーカイブする機能がある。タイトルをはじめ、キーワードや詳細説明が入力できる。

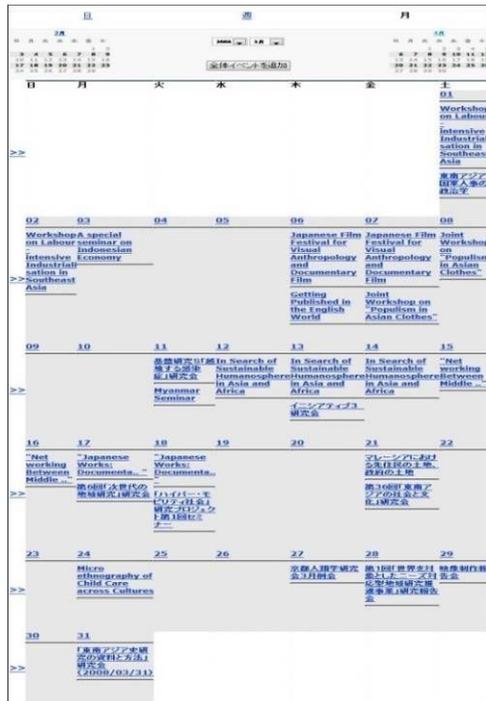


図 5：カレンダー



図 6：メディアギャラリー

➤ 図 7：掲示板

急な、研究会の変更情報や Web に関する情報を掲載。

➤ 図 8：ファイル管理

利用者がデータをダウンロードできる。ロゴ、レターヘッドなど。

➤ 図 9：フォーラム(フォーム)

国際シンポジウムの出欠状況を登録するためのフォーム。

登録状況は、一覧表としてブラウザで確認ができる。

掲示板	件名	最新投稿
G-COE図書部会掲示板	図書部会掲示板	2008年4月24日 11:53 JST
研究会内容変更のお知らせ	研究会次世代イニシアティブ研究助成報告会のご案内【会場変更】(2008/2/1...	2008年4月 7日 22:19 JST
研究会内容変更のお知らせ	イニシアティブ3 第3回研究会...	2008年2月14日 13:50 JST
サイト機能お知らせ	メディアギャラリー機能のお知らせ...	2008年2月 9日 17:20 JST
研究会内容変更のお知らせ	The Third AFC International Symposium: R...	2008年2月 6日 12:22 JST

図 7：掲示板

ファイルリスト: 10 件あります。

[レターヘッド 9](#)

[ロゴ 1](#)

最新リスト:

カテゴリ:レターヘッド ファイル提供: webmaster

[生存圏研究所](#)

このワードファイルを印刷する時、以下のエラーメッセージが表示されますが、デザイン上の問題で入力された本文には影響がありません。そのまま印刷を継続して下さい。
When you print a file, please ignore the following error message.
This problem is relevant to the design of a print format, so please keep to print

バージョン: 日付: 2008-02-04 評価: 0.00 16 1.51 MB

[コメント作成](#) | [ダウンロード](#) | [全文表示](#) | [このファイルの評価](#) | [破損ファイル](#)

カテゴリ:レターヘッド ファイル提供: webmaster

[生存圏科学研習ユニット](#)

このワードファイルを印刷する時、以下のエラーメッセージが表示されますが、デザイン上の問題で入力された本文には影響がありません。そのまま印刷を継続して下さい。
When you print a file, please ignore the following error message.
This problem is relevant to the design of a print format, so please keep to print

バージョン: 日付: 2008-02-04 評価: 0.00 16 1.51 MB

[コメント作成](#) | [ダウンロード](#) | [全文表示](#) | [このファイルの評価](#) | [破損ファイル](#)

カテゴリ:レターヘッド ファイル提供: webmaster

[地域研究統合情報センター](#)

このワードファイルを印刷する時、以下のエラーメッセージが表示されますが、デザイン上の問題で入力された本文には影響がありません。そのまま印刷を継続して下さい。
When you print a file, please ignore the following error message.
This problem is relevant to the design of a print format, so please keep to print

バージョン: 日付: 2008-02-04 評価: 0.00 12 1.51 MB

[コメント作成](#) | [ダウンロード](#) | [全文表示](#) | [このファイルの評価](#) | [破損ファイル](#)

図 8：ファイル管理

Registration2008

Registration form
Items *** are necessary

Given name *

Middle name

Family name *

Title

Affiliation *

Contact address *

Telephone *

Fax

Email *

Email Confirmation *

Participation *
2008/03/12 Yes No
2008/03/13 Yes No
2008/03/14 Yes No

Reception * 2008/03/12 Yes No

Note

図 9：フォーラム

④ ページ総数と更新頻度

ほぼ毎日の更新活動をおこなっている。

主な HP の内容：プログラム概要、研究会情報、プログラムメンバー紹介など

日本語：ページ総数：500 ページ / 英語：ページ総数：280 ページ

合計：780 ページ

⑤ アクセス数(日本語・英語ページ)について

アクセス解析は、

Google Analytics(<http://www.google.com/analytics/ja-JP/index.html>)を活用した。

解析期間

- ・日本語ページ： 2007年11月30日～2008年4月30日
- ・英語ページ： 2008年1月28日～2008年4月30日

	訪問者数合計	ページ閲覧数合計
日本語	18570	113340
英語	7169	15855

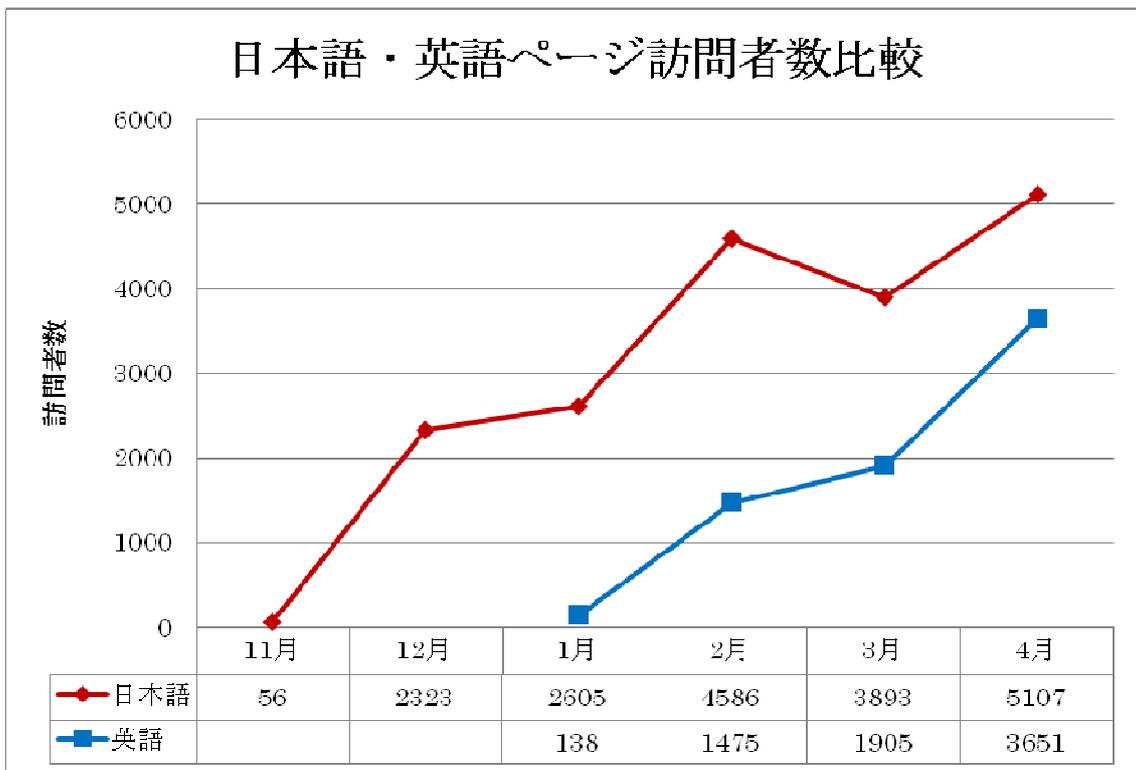


図 10：日本語・英語ページ訪問者数の推移（月別）

図 10 からは、訪問者数が日本語・英語ページともに伸びており、HP 利用者が
 増えていることが示される。3 月には国際シンポジウムが開催され、大幅に訪問
 者数が伸びた。

一日の平均訪問者数は 日本語は、121 英語は 76 セッション数である。

⑥ 国・地域のアクセスについて

国・地域の訪問者が図 11・図 12 で示される。図 11 では、日本国内の各地域から

の訪問者が度の割合で訪れたかがわかる。図 12 では、海外からの訪問者の割合がわかる。

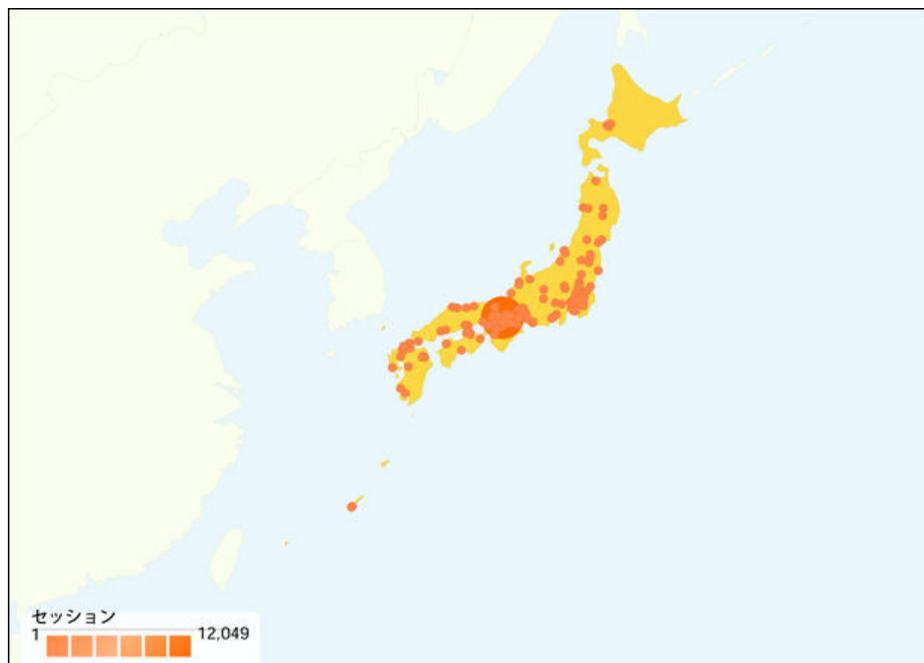


図 11：日本国内 263 種類の都市の訪問者（日本語ページ解析）

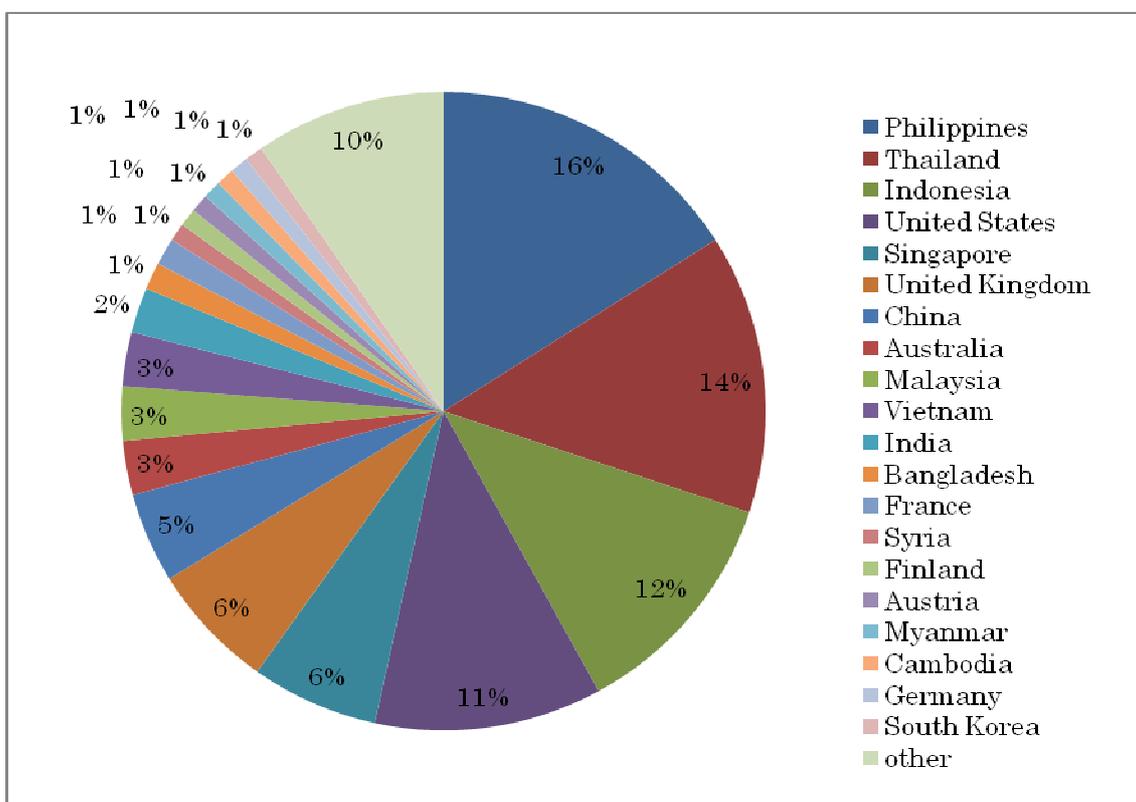


図 12：海外からの訪問数：42 カ国（英語ページ解析）

⑦ システム開発について

ホームページ立ち上げ当初から、その基幹システムに多言語への対応、システム開発の手軽さ、SEO 対策などに対して先駆的な試みを行っている新興オープンソース CMS を取り入れたことで、システム開発が従来と較べて迅速かつ安価に仕上げられるようになったことは特記すべきである。また公開を前提としたシステム開発方針を取り入れたことは、システムの社会還元をおこなうだけでなく、持続的な運用・発展において、コミュニティとの互助体制を築くことが出来たことも今までになかった試みである。それらの主な成果については下記に掲載する。

なおシステム開発は、開発そのものの容易さもあり、業者委託したものと自らが開発したものに分類される。いずれも公開あるいは CMS システムそのものに組み込まれる成果を挙げている。

1. オンラインブログ CNET Japan「大学がオープンソースに貢献する」, 2008/3/30, http://japan.cnet.com/blog/geeklog/2008/03/30/entry_27000098/
2. Geeklog Japan サイト「記事管理画面のコピー機能追加ハック」, 2008/3/6 公開, <http://www.geeklog.jp/filemgmt/index.php?id=310>
外部委託したシステムを公開。本機能は、翻訳などの作業を行うことを中心に、以前からコミュニティ内での要望が高かったこともあり、その反響は大きい。
3. 木谷公哉, Geeklog Japan サイト「多言語表示・管理のためのハック集」, 2008/02/07 公開, <http://www.geeklog.jp/filemgmt/index.php?id=298>
多言語の管理利便性を高めるために拡張したシステムおよびその説明。サイドメニューの多段階層化など、きめ細かいカテゴリーが必要なサイトなどに活用されるきっかけとなった。
4. 木谷 公哉, Geeklog Japan サイト「ブロックを多言語対応で表示する」, 2007/12/22 公開, <http://wiki.geeklog.jp/index.php/%E3%83%96%E3%83%AD%E3%83%83%E3%82%AF%E3%82%92%E5%A4%9A%E8%A8%80%E8%AA%9E%E5%AF%BE%E5%BF%9C%E3%81%A7%E8%A1%A8%E7%A4%BA%E3%81%99%E3%82%8B>
多言語表示の利便性を大幅に向上するための仕組みにするための支援を行い、そのシステムが評価され Wiki に掲載された。